



## コホート調査 健康調査結果

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構では、2013年7月から、三世代コホート調査を通じて、一人ひとりの体質と生活習慣・環境の組み合わせが、健康状態にどんな影響を与えるかを調べています。三世代コホート調査は、採血・アンケート調査などのベースライン調査・ゲノム解析・その後の健康状態に関する追跡により、生まれてくるお子さんとそのご家族1人ひとりの体質に合った予防法や治療法を開発するための大切な基盤作りになります。

多くの方からご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回は、その中から、血液検査に関する結果について、それぞれ検査対象となった項目をお返し致します。

ご一読いただき、ぜひ今後の健康づくりのためにご活用ください。

本研究の健康調査は、研究目的で調査を行った項目の結果をお知らせいたしますが、皆さまの健康状態を総合的に診断するものではありません。健康管理のため、健康診断は必ず定期的にお受けください。また、お身体に不調を感じた場合には、すぐに相談窓口または、かかりつけの医療機関を受診してください。

今回は、結果のお返しが遅くなりまして大変申し訳ございません。

取り急ぎ、採血検査項目についてお返しさせていただきます。残りの項目につきましては、後ほどお送りさせていただきますので、ご了承ください。

### コホート調査の目的

#### 1. 震災復興事業としての地域医療への貢献

参加者さまの健康調査を実施し、ご病気の疑いがある方またはご健康を損なうリスクのある方の支援を行います。宮城県・岩手県に住民票登録のある妊婦さんや生まれてくるお子さんを中心に、そのお父さん・おじいさん・おばあさんまであらゆる年齢の参加者の方々のご病気の早期発見を通じて、地域医療に貢献することが目的です。

#### 2. 最先端医科学としての貢献

三世代コホート調査ではすべての参加者さまを対象とし、お子さんに比較的多くみられるアレルギー性疾患・自閉症などの病気や、大人の方に多い生活習慣病の両方に対して遺伝要因・環境要因がどのように関わっているかを調査します。遺伝要因・環境要因が家族のあいだで似ているかもしくは違っているかを三世代にわたって比較することで、どんな要因がどの程度病気や症状に関わっているかを調査し、未来の医学へ貢献します。

#### 【ご相談窓口】

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

022-718-5162 三世代コホート室 (9時~17時、土・日・祝日休み)

〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1  
三世代コホート

# 健康調査 検査結果報告書

様

実施年月日  
コホートID  
採血場所  
コース

## 健康調査結果によるアドバイス

「基準値を超えています」 アレルギー体質の方は高めに出る傾向がありますが、高い事が原因でアレルギー症状が起きると単純には言えません。アレルギー性疾患を疑わせる症状がある場合は、かかりつけ医にご相談ください。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。

	項目名	基準値	検査値	
			今回	コメント
アレルギー	非特異的IgE	170 IU/ml 以下	305	高めの値です。アレルギー体質の方は高めに出る傾向がありますが、高いからといってアレルギー性疾患になっているとは限りません。
アレルギー検査	コナヒョウダニ	0.0~ 1.39 LC	200.20	(陽性 クラス6)コナヒョウダニに対してアレルギー反応を示す可能性があります。これが原因でアレルギー性疾患の症状が出ている可能性が心配な場合は、かかりつけ医にご相談ください。特に症状のない場合は、様子を見ていてかまいません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
	ハウスダスト		47.51	(陽性 クラス3)ハウスダスト に対してアレルギー反応を示す可能性があります。これが原因でアレルギー性疾患の症状が出ている可能性が心配な場合は、かかりつけ医にご相談ください。特に症状のない場合は、様子を見ていてかまいません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
	ネコ皮膚		0.78	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
	イヌ皮膚		0.91	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
	オオアワガエリ		0.99	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
	アルテルナリア		2.68	(疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。

\*\*\* 検体量不足 / 細胞数不足などにより検査ができませんでした。



# 健康調査 検査結果報告書

様

項目名	基準値	検査値	
		今回	コメント
カモガヤ	0.0~ 1.39 LC	0.81	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
ブタクサ混合物		0.89	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
ヨモギ		0.94	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
ラテックス		3.18	(陽性 クラス2)ラテックスに対してアレルギー反応を示す可能性があります。 これが原因でアレルギー性疾患の症状が出ている可能性が心配な場合は、 かかりつけ医にご相談ください。特に症状のない場合は、様子を見てかまいません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
スギ		1.20	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
ヒノキ		0.91	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
ハンノキ		0.93	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
シラカンバ		1.19	(陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
カンジダ		1.74	(疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。 一般的には心配する必要はありません。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。

アレルギー  
検査

# 健康調査 検査結果報告書

様

項目名	基準値	検査値	
		今回	コメント
バナナ	0.0~ 1.39 LC	2.07	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
キウイ		3.61	<p>陽性 クラス2)もしこれまで食べていて、アレルギーの症状を起こしたことが無いが、以前は症状が出たことがあるが、現在は食べられるようになっている場合はそのまま食べて大丈夫です。これまで全く食べたことが無い食品について陽性になっている場合は、アレルギー反応が起きる可能性があります。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
ゴマ		2.24	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
エビ		186.10	<p>陽性 クラス6)もしこれまで食べていて、アレルギーの症状を起こしたことが無いが、以前は症状が出たことがあるが、現在は食べられるようになっている場合はそのまま食べて大丈夫です。これまで全く食べたことが無い食品について陽性になっている場合は、アレルギー反応が起きる可能性があります。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
ソバ		1.89	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
小麦		2.11	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
ピーナッツ		1.47	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
大豆		1.63	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>
米		2.20	<p>疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。</p> <p>これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。</p> <p>詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。</p>

アレルギー  
検査

# 健康調査 検査結果報告書

様

項目名	基準値	検査値	
		今回	コメント
マグロ	0.0~ 1.39 LC	2.45	疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
サケ		6.09	陽性 クラス2)もしこれまで食べていて、アレルギーの症状を起こしたことが無いが、以前は症状が出たことがあるが、現在は食べられるようになっている場合はそのまま食べて大丈夫です。これまで全く食べたことが無い食品について陽性になっている場合は、アレルギー反応が起きる可能性があります。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
カニ		129.01	陽性 クラス5)もしこれまで食べていて、アレルギーの症状を起こしたことが無いが、以前は症状が出たことがあるが、現在は食べられるようになっている場合はそのまま食べて大丈夫です。これまで全く食べたことが無い食品について陽性になっている場合は、アレルギー反応が起きる可能性があります。詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
オボムコイド		0.16	陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
牛乳		0.68	陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
牛肉		1.64	疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
豚肉		2.33	疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
鶏肉		1.87	疑陽性 クラス1)この抗原に反応する可能性は高くありません。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。
卵白		0.24	陰性 クラス0)この抗原に反応する可能性は低いという結果です。 これまで食べている食物なら心配はいりません。以前にアレルギー症状が出たことがあり、ずっと食べていない場合、食べられるように変わったとも言えません。 詳しくは5～6ページの説明をご覧ください。

アレルギー  
検査

## 重要なポイント

非特異的IgE値が高いとアレルギー症状が出やすい体質があると言えますが、基準値を超えていたら、必ずアレルギー性疾患であるという事ではありません。アレルギー症状がなければ、心配はいりません。アレルギー性疾患の症状については以下の説明をお読みください。

反応する物質が分かっている特異的IgE値が陽性だと、その物質に対してアレルギー反応が出やすくなる傾向がありますが、アレルギー性疾患の原因となっているとは限りません。食物に対する特異的IgEが陽性でも、これまで食べていたなら、そのまま食べていて大丈夫です。その他の物質に対するIgEが陽性でも、これまで気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎などの症状がなければ、生活習慣や環境を変える必要はありません。

### IgE抗体の検査値について

IgEの測定値は、非特異的IgEと特異的IgEに分けて報告しています。非特異的IgEは全般的なアレルギー体質であるかどうかの評価に用います。特異的IgEは特定の抗原（卵白、スギ花粉、ネコのフケなど）に反応する血液中のIgE抗体の濃度の高低を抗原ごとに示しています。IgEの測定の仕方はいろいろな方法がありますが、今回のMAST33法は、スクリーニング検査です。医療機関では別な測定法で確認のための検査をすることがあります。

### 非特異的IgE抗体

非特異的IgE値が大きければ、アレルギー症状が出やすい体質である可能性があるため、結果に示したような基準値がありますが、この基準値を超えていたら、必ずアレルギー性疾患の症状が出るというわけではありません。ご心配な症状がなければ、特に何もなくて結構です。アレルギー性疾患の症状の説明は後述いたします。

### 特異的IgE抗体

#### 食物抗原

食べ物に対する特異的IgE抗体の濃度は食物アレルギーの評価に用います。特異的IgE抗体の値が高いほどアレルギー症状が出る可能性が高くなりますが、IgE抗体の値が陽性でも、それを食べると必ずアレルギー症状が出るわけではありません。特定の食物に対するIgE抗体の値が陽性でも、これまでアレルギー症状をおこさな  
いで食べていたのであれば、そのまま食べていて結構です。不適切に食物摂取を制限すると、こどもの健康や成長のために必要な栄養素が確保できなくなることも懸念されます。

今まで食べたことがない食物に対するIgE抗体の値が陽性の場合、それを食べた時にアレルギー症状が出てくる可能性があります。食べる前に、かかりつけ医にご相談ください。

以前食べた時に症状が出たのでずっと食べていない食物について、今回のIgE抗体の結果が陰性となっても食べられるように変わっているとは言えません。

どうすればいいかわからない場合は、東北メディカル・メガバンク機構の24時間電話相談にご連絡ください。

#### 食物以外の抗原

ダニ、ネコやイヌのフケなどの抗原が皮膚に接触することで、アトピー性皮膚炎の原因に、ダニや花粉等を吸う事が、気管支喘息やアレルギー性鼻炎（花粉症）の原因になることが知られています。これらの抗原に対する特異的IgE値が高く、症状がある場合は、かかりつけ医にご相談ください。しかし、食物抗原と同様にこれらのIgE抗体の値が陽性になっていてもアレルギー症状の原因になるとは限りませんので、症状のない場合は様子を見てかまいません。

## アレルギー反応とアレルギー性疾患の症状

アレルギー反応とは、通常では反応を示す必要のない物質（抗原）に対し、体が過剰におこす免疫反応のことです。その際、その物質をアレルゲンとも表現します。アレルギー反応が原因となって起こる代表的な病気には、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎（通年性・花粉症）、アレルギー性結膜炎、食物アレルギー、じんましんなどがあります。これらをアレルギー性疾患とまとめて言う事があります。

気管支喘息の症状は、ゼーゼー、ヒューヒューという音が呼吸の際にしたり、息苦しい、熱もないのに咳が出るなどです。これらの症状が出てきたり、消えたりします。

アトピー性皮膚炎は、かゆみを伴う皮膚の湿疹、発赤が、顔、ひざ、肘、お腹などを中心に出てなかなか治らない状態です。

アレルギー性鼻炎は、くしゃみ、鼻水、鼻づまりが3大症状とされています。

アレルギー性結膜炎は目のかゆみ、涙目などが症状です。

食物アレルギーはいろいろなタイプがあります。食後2時間以内にじんましん、咳、呼吸困難（ゼーゼー、息苦しい）を起こしてくるタイプは「即時型」です。花粉に対するアレルギーがあって、果物や野菜を食べると口の中がはれたり、ピリピリしたりする症状がある場合は「口腔アレルギー症候群」と言います。食物アレルギーがアトピー性皮膚炎の主な原因となっている場合もあります。

## 即時型アレルギー反応の仕組み

即時型アレルギー反応では、体の中に特定の抗原と結合する特異的IgEができています。IgE抗体は、アレルギー症状を引き起こす物質（ヒスタミン、ロイコトリエン）を放出する細胞（肥満細胞）に一部結合しています。特異的IgEが準備されている抗原が、体に入ってくると、肥満細胞の表面で特異的IgEと抗原が結合することがスイッチになって、細胞からヒスタミン、ロイコトリエンが放出され、これらの作用で鼻水、くしゃみ、じんましんなどの症状が出てきます。

## 医療機関等へのご相談

今回のIgEの値が基準値を超えたり、陽性になったりしても、上記のようなアレルギー性疾患の症状の無い方は、医療機関を受診しなくても大丈夫です。ある特定の食物の特異的IgEが陽性で、それを食べたら、2時間以内にじんましんが出たり、皮膚炎、湿疹が悪化したり、ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音がしたり、息苦しくなったりした経験がある場合や、その他アレルギー性疾患の症状が気になっているが、そのことで医療機関を受診したことが無い場合は、東北メディカル・メガバンク機構の24時間電話相談、又は、かかりつけの医師にご相談ください。

独立行政法人環境再生保全機構のホームページでは以下のような内容のPDFファイルが無料で公開されています。これまでの説明でよくわからなかった方、詳しく知りたい方はぜひご参照ください。

「アレルギーってなあに？」

<http://www.erca.go.jp//yobou/pamphlet/form/00/pdf/ap028.pdf>

「ぜん息予防のためのよくわかる食物アレルギー対応ガイドブック2014」

[http://www.erca.go.jp//yobou/pamphlet/form/00/pdf/archives\\_24514.pdf](http://www.erca.go.jp//yobou/pamphlet/form/00/pdf/archives_24514.pdf)